

02

川西市地域分権推進事業 ニュースレター

第2回地域夢・未来カフェ in 多田

地域分権制度の検討の一環として、地域課題の解決に向けた具体的な活動案を考えながら、地域分権制度についての意見をいただくため、「第2回地域夢・未来カフェ in 多田」が開催されました。

日時：2013年2月2日（土）19:00～21:00

場所：多田公民館

参加人数：市民17名

当日のスケジュール

- 19:00 開会
- 19:05 地域分権制度について
- 19:15 スケジュール説明・ふりかえり・チーム分け
- 19:30 イントロ（川西クイズ）
- 19:35 テーブルワークの説明・事例紹介
- 19:45 テーブルワーク（活動案の検討）
- 21:00 閉会

スケジュール説明～イントロ

はじめに、政策推進室の石田室長から地域分権制度の論点について説明がありました。その後、第1回カフェのふりかえりを行い、今回から具体的に活動案を検討していくため、昨年の懇談会の内容を共有した結果について説明がありました。地域住民の交流や地域活動の活発化に関する取組、ボランティア活動などへの関心が特に高い傾向が見られ、それらについて3つのテーマを設定し話し合っていくことが決まりました。

その後、参加者は話し合いたいテーマのテーブルにそれぞれ移動しました。テーブルワークに入る直前には、イントロダクションとして、多田小地域の状況に関するクイズが3問出題されました。



前回の共有結果から分析した傾向

- 交流の場づくりに関するものは取組で重要度が高くなっている
- 地域活動（自治会等）に関するものは取組で重要度が高くなっている
- ボランティア活動に関するものは取組で重要度が高くなっている

決定したテーマ

- Aグループ：多世代が交流できるまちにする
- Bグループ：地域活動が活発なまちにする
- Cグループ：ボランティア活動の活発なまちにする

Aグループの概要

◎多世代が交流できるまちにする

例えば・・・

- ⇒ 猪名川を活かしたイベントの実施
- ⇒ コミュニティカフェの開催
- ⇒ 新しい地域のお祭りの開催 など

Bグループの概要

◎地域活動が活発なまちにする

例えば・・・

- ⇒ 自治会活動の加入率をあげる取組
- ⇒ 誰もが地域活動に参加したくなる方法
- ⇒ 新たな人材の発掘と育成 など

Cグループの概要

◎ボランティア活動の活発なまちにする

例えば・・・

- ⇒ ボランティアに参加したくなる取組
- ⇒ 新たなコミュニティビジネス・有償化
- ⇒ 団塊世代のスキルやノウハウを活用する など

テーブルワーク

3グループに分かれたテーブルワークでは、はじめにファシリテーターから、それぞれのテーマに即したいくつかの事例紹介がありました。その後、各グループは活動メニューから検討をはじめ、メニューがある程度決まったグループは、活動をより具体的に話す話し合いを進めました。どのグループでも、閉会時間ギリギリまで活発な議論が行われました。



◎各グループの主な意見

Aグループ：多世代が交流できるまちにする

- 交流できる場が少ない…スーパー、病院ぐらいでしか交流できない ・子育ての悩みなど相談できる場がない
- 参加しない…高齢になり外に出ない ・若い人は活発に参加しない ・既存のイベントは参加者が固定化している
- 猪名川の課題…川を挟んでまちが分断されている ・居住地域内から出て行きにくい ・川を越えるのが大変
- 目指すべき交流…多世代が交流できる ・気軽に交流できる ・おしゃべりができる場所 ・個々の役割がある ・オープンスペースで出入りが自由にできる場 ・忙しい若者でも参加できるようにする ・人材マップの作成
- 猪名川を活用…猪名川沿いにコミュニケーションできる場を確保 ・東屋風に気軽に ・猪名川の開放 ・バーベキュー大会、芋煮大会 ・自由に食材を持ち込む ・かわらで遊ぼうで実験してみる など

Bグループ：地域活動が活発なまちにする

- 自治会の現状…自治会加入率をあげることが重要 ・自治会役員はコミュニティの役員もしないといけない ・自治会は5つある ・自治会役員は忙しい（脱会者の意見） ●コミュニティの現状…行事の準備が大変 ・コミュニティに老人会は入っていない ・各団体を気軽につなげられないか ・サークル活動がコミュニティに入り活動できないか ●共通の現状…役員がイヤ ・役員の高齢化
- まずは参加してもらおう…気軽に楽しく ・地域活動を有料化できないか ・若い世代が行きたい講演会をする ・落語会やカウンセリング講習会は面白かった ・今ある枠組みを広げることができないか
- その他… ・地域のまとまりを明確にする など

Cグループ：ボランティア活動の活発なまちにする

- 現状…地域の中の多様な団体（高齢者支援ボランティアあい、スポーツ21、ふれあい喫茶、見守り隊など）
- 課題…ボランティアに対するニーズの幅が広い ・ボランティアの担い手が少ない ・自主的な取組が少ない ・30、40代の参加が少ない（忙しい） ・継続的なボランティアが少ない
- お金がまわる仕組み（有償化）…サービスの料金体系を見直す ・助成金をとる ・お茶代、交通費代の補助
- ボランティアの場づくり…カフェなど情報交換できる場所 ・ボランティア登録制度
- ボランティアの認識を高める…体験談でボランティアの良さを伝える ・情報の伝え方を工夫する
- 評価…ボランティアをほめてほしい など

